

I. 研修の目的と当院の特徴

① 目的

医師としての基盤形成の時期に i) 医師としての人格を涵養し、ii) プライマリ・ケアへの理解を深め、iii) 患者を全人格的に診ることができる、基本的な診療能力を修得します。

②特徴

当院は秋田市北部に位置し、医療圏は秋田市北部の他に、男鹿市、潟上市、南秋田郡地域を対象とする基幹病院です。救急指定病院として一次・二次救急に力を入れていることから、プライマリケアの研修に重点をおいた研修を目標としています。また、循環器病、脳卒中、腎臓病の循環器系疾患については、二次救急からリハビリテーションまで設備が整っており、高度の医療レベルまでの研修が可能です。

II. プログラムの名称と定員

秋田厚生医療センター 臨床研修プログラム 定員 12名

III. プログラムの特色と研修計画

研修プログラムの特色

プライマリケア研修の充実に最大の主眼をおいたプログラムとしており、特色は以下の4点である。

- 1) 初年度研修開始時の2週を新採用職員全員での他職種での総合オリエンテーション期間とする。
- 2) 「救急」研修12週は救急診療科8週間、残り4週は通年型プログラムとして救急センター時間外救急研修にあて、当院の特色である一次・二次救急研修を充実化したこと。
- 3) 「地域医療」を8週とし、地域連携病院においてへき地・在宅医療、介護施設巡回診療および住民健診など地域医療全般の研修を広く経験できるようにした。
- 4) 以上2診療科以外に今回の改正で「必修」とされた5診療科での研修では外科を8週に拡大した他、麻酔科4週も履修することとした。また、内科には総合診療科を加え、従来プログラムの長所であるプライマリケア全般にわたりバランスよく研修することを重視するとともに、選択科ブロックを32週として個々の研修医の研修設計にも自由度を保てるようにした。

1 年次スケジュール案

内科 (総合診療部含む) 2 4 週	外科 8 週	救急部門 8 週	麻酔科 4 週	小児科 4 週
秋田厚生医療センター、秋田大学医学部附属病院、能代厚生医療センター、かづの厚生病院、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、雄勝中央病院	秋田厚生医療センター、秋田大学医学部附属病院、能代厚生センター、かづの厚生病院、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、雄勝中央病院	秋田厚生医療センター	秋田厚生医療センター、大曲厚生医療センター	秋田厚生医療センター、秋田大学医学部附属病院、能代厚生医療センター、由利組合総合病院、平鹿総合病院、雄勝中央病院

2 年次スケジュール

産婦人科 4 週	精神科 4 週	地域医療 8 週	自由選択 3 2 週
秋田厚生医療センター、秋田大学医学部附属病院、能代厚生医療センター、由利組合総合病院、平鹿総合病院、雄勝中央病院	秋田大学医学部附属病院、能代厚生医療センター、秋田緑ヶ丘病院	北秋田市民病院、湖東厚生病院、藤原記念病院、男鹿みなと市民病院、市立大森病院、かづの厚生病院、雄勝中央病院、羽後町立羽後病院	秋田厚生医療センター、秋田大学医学部附属病院、能代厚生医療センター、藤原記念病院、市立大森病院、秋田市保健所、秋田中央保健所、赤十字血液センター、高清水寿光園

- * 1)内科系：血液内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・腎臓内科・糖尿病代謝内科・総合診療部。
- * 2)外科系：消化器外科・脳神経外科・呼吸器外科・小児外科
- * 3)プログラムの自由選択研修は秋田厚生医療センター(内科系・外科系・小児科・産婦人科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・放射線治療科・救急総合診療部・麻酔科)、秋田大学医学部附属病院(内科系・外科系・小児科・産婦人科系・精神科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科)と秋田市保健所・秋田中央保健所・特別養護老人ホーム高清水寿光園・秋田県赤十字血液センターで地域保健研修を組み合わせで行う事ができる。
また、到達目標の未到達がある場合には到達目標達成に必要な診療科の研修に充てることがある。
- * 4)一定期間における研修医の同一診療科への集中を避けるために、診療科の研修順序は研修医によって異なる。また、当初の48週のうち、12週以内に限り必修科目を研修することも出来る。
- * 5)共通臨床研修コース(通年)として、献血事業研修がある。ローテート科の研修と並行して行い、研修に影響が出ないような月に1～2回、献血事業に参加して輸血療法を支える献血事業の重要性を学ぶ。
- * 6)通年の臨床研修として、各種検診・健診の実務を行う。各地域・職域の健診活動を通して、法定健診、総合健診の意義を学ぶ。この研修もローテート科の研修と並行して行い、研修に影響が出ないような体制で行う。
- * 7)秋田厚生医療センターで32週以上研修しなければならない。
- * 8)外来診療は、地域医療で1病院2週間×2病院の計4週または、総合診療部で2週間

と地域医療で2週間のいずれかとする。

* 9)在宅診療は、地域医療8週の中で行う。

IV.プログラムの参加施設

基幹型病院：秋田厚生医療センター

協力型病院：秋田大学医学部附属病院(内科・外科・産婦人科・小児科・精神科)

北秋田市民病院(地域医療)

能代厚生医療センター(内科・外科・産婦人科・小児科・精神科)

湖東厚生病院(地域医療)

藤原記念病院(地域医療)

秋田緑ヶ丘病院(精神科)

男鹿みなと市民病院(地域医療)

市立大森病院(地域医療)

かづの厚生病院(内科・外科・地域医療)

由利組合総合病院(内科・外科・小児科・産婦人科)

大曲厚生医療センター(内科・外科・麻酔科)

平鹿総合病院(内科・外科・小児科・産婦人科)

雄勝中央病院(内科・外科・小児科・産婦人科・地域医療)

羽後町立羽後病院(地域医療)

協力施設：秋田市保健所(選択)

秋田中央保健所(選択)

特別養護老人ホーム高清水寿光園(選択)

秋田県赤十字血液センター(選択)

V.プログラムの管理運営

研修管理委員会がプログラムの管理運営に関し責任を持ちます。

VI.指導体制

研修管理委員長・研修実施責任者・プログラム責任者:齊藤崇(副院長・循環器科)

副プログラム責任者:畑澤千秋(診療部長・小児外科)

研修を行う各診療科科長が指導医として、責任を持って指導にあたります。

○内科系：〔血液内科〕北林淳・川端良成・道下吉広〔呼吸器内科〕福井伸・守田亮

〔消化器内科〕渡部博之・星野孝男・藤井公生・津田栄彦・大高日本・小林芳生・高木康彦・

田村知大・渋谷健吾〔循環器内科〕齊藤崇・田村芳一・松岡悟・阿部元・庄司亮

〔腎臓内科〕大谷浩・後藤博之・多田光範・〔糖尿病代謝内科〕下斗米孝之・高嶋悟

〔救急総合診療部〕作左部大・杉本侑孝・駒形友康

〔秋田大学医学部附属病院 腫瘍内科〕柴田浩行・井上正広

- 外科系：〔消化器外科〕遠藤和彦・齋藤礼次郎・柴田聡・今野広志・大淵徹・吉野敬・佐々木智彦・田村博史
- 〔呼吸器・乳腺外科〕木村愛彦・戸田洋〔脳神経外科〕小島壽志・二渡克弥・畠山潤也
- 小児科：伊藤誠人・山本翔子・畑澤孝子 ○小児外科：畑澤千秋
- 整形外科：阿部栄二・村井肇・小西奈津雄・小林孝・菊池一馬・木下隼人・木村竜太
- 泌尿器科：岡根克己・本間直子 ○産婦人科：齋藤寛・吉岡知巳・能登彩
- 眼科：早川宏一・神千佳子 ○耳鼻咽喉科：近江永豪
- 放射線科：大町康一・犬上篤 ○放射線治療科：戸嶋雅道 ○病理診断科：佐々木俊樹・高橋正人 ○緩和ケア：作左部大・杉本侑孝（併任） ○麻酔科：岩崎洋一・松本聖子・那波久仁子

VII.採用方法

募集方法：公募(マッチングに参加)

応募必要書類：①履歴書(写真添付)ホームページからダウンロードして下さい。②卒業(見込み)証明書 ③成績証明書 ④健康診断書(大学で行った学生健康診断書提出で可)

選考方法：①面接 ②作文(課題は面接時に指示します)

応募の締切：令和元年8月16日必着。病院総務管理課まで、持参または郵送して下さい。

選考の日・場所：令和元年8月24日(土)、26日(月)

秋田厚生医療センターで行います。

VIII.教育課程

①到達目標

研修医が到達すべき行動目標と経験目標を別紙に示してあります。

②勤務時間

所定勤務時間：8時30分～17時(ただし患者さんの状態などにより、必要に応じて勤務時間外においても自主的判断により勤務するものとします)

日直研修・夜間研修・当直研修 4回/月 程度有り

IX.研修評価

①研修医の評価

研修医は随時到達度を確認し、必要あれば指導医等と相談し、目標が達成できるよう努力するものとします。

②各科終了時の研修医評価

研修医は各科ローテーション終了時、評価表に基づいて自己評価を行います。担当指導医はやはり評価表に基づいて評価するとともに、研修医に対して直接のフィードバックも行います。

③研修管理委員会での評価

研修管理委員会では総括評価を行うとともに、必要あれば本人への直接指導も行います。

④指導体制の評価

研修医は各科のローテーション終了時、評価表に基づいてその科の指導医の評価を行います。研修管理委員会では評価表に基づき、各科での指導体制を評価します。

⑤研修プログラムの評価

研修管理委員会では提出された各種評価表や研修記録、各科指導医、研修医の意見も参考に、プログラムや研修上の問題点を定期的に評価・検討します。

X.プログラム終了の認定

規定の研修を修了した時点で、研修管理委員会での修了認定に基づき、病院長は修了証書を授与します。

XI.プログラム修了後のコース

当院で更に志望各科での後期臨床研修を行うことも可能です。

XII.研修医の処遇

- ① 身分:常勤医師
- ② 給与/月 (令和元年度予定): 1年次 499,800 円、2年次 531,400 円
- ③ 賞与/月 (令和元年度予定): 1年次 761,124 円、2年次 1,250,400 円
- ④ 時間外勤務手当なし
- ⑤ 休暇:有給休暇(1年次:10日、2年次:20日)・夏期休暇・年末年始休暇・盆休暇・各種慶弔休暇・産前産後休暇・生理休暇
- ⑥ 宿舍:無。借上住宅(50,000 円/月まで補助します)
- ⑦ 社会保険:健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険
- ⑧ 健康診断:年2回
- ⑨ 医師賠償責任保険:病院として加入。個人加入は任意です。
- ⑩ 学会、研究会への参加:可能。参加費・旅費を支給します。
- ⑪ 臨床研修の期間中は研修専念義務があることから臨床研修病院プログラムに基づかない施設での医療行為(アルバイト)を禁止する。